

社会資本総合整備計画

事後評価書

計画の名称	前橋市水道施設整備計画（防災・安全）（重点計画）													
計画の期間	令和06年度～令和06年度（1年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	前橋市													
計画の目標	前橋市上下水道耐震化計画において設定した避難所等の重要施設（25施設）に接続する水道管路の耐震化並びに急所施設の耐震化を推進し、地震に強い水道システムの構築を推進する。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		55	A	55	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（R6当初）		（R6末）
1	前橋市上下水道耐震化計画で定めた水道システムの急所施設（配水池）の耐震化率の向上（R6年度当初：41.4％→R6年度末：43.5％） 指標とする配水池の耐震化率には、上下水道耐震化計画で定められた水道システムの急所施設の耐震化（5）耐水施設（配水池）の耐震化率を採用する。 急所施設（配水池）の耐震化率（％）：耐震対策の施された配水池有効容量／急所施設の配水池等有効容量	41％	％	43％

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
水道・下水道事業	A07-001	水道	一般	前橋市	直接	前橋市	-	-	緊急遮断弁の整備事業	緊急遮断弁の設置（中之沢浄水場）	前橋市	■					31		-
	A07-002	水道	一般	前橋市	直接	前橋市	-	-	基幹水道構造物の耐震化事業	配水池等の更新（中之沢浄水場）	前橋市	■					24		-
											小計						55		
											合計						55		

事後評価	
○ 事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
前橋市水道局浄水課が担当となって事後評価を行う。	令和 8 年度
	公表の方法
	市のホームページにて公表。
○ 事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	上下水道耐震化計画に基づき、浄水施設の耐震化を推進したことにより、地震発生時における給水及び配水機能の確保に向けた防災・減災機能の向上を図ることができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	上下水道耐震化計画に基づき、浄水場、配水池などの老朽化施設の更新を進めることで、災害時における給水・配水機能の確保及びライフラインの強靱化を図る。
○ 特記事項（今後の方針等）	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	急所施設の耐震化率（％）：耐震対策の施された配水池有効容量 / 急所施設の配水池等有効容量		
	最 終 目標値	43％	施設整備を効率的に実施することができた。
	最 終 実績値	43％	